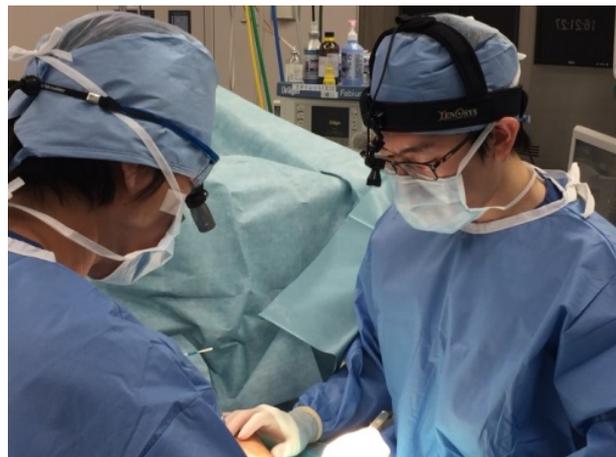


外科

○診療科の紹介

当院は、横浜東部地域の中核病院として平成 19 年に開院しました。病院の基本方針の 1 つに、「高度な急性期医療および専門医療の提供」が挙げられており、平成 26 年 8 月に地域がん診療連携拠点病院、同年 10 月に横浜市重症外傷センターの指定を受けました。

外科は、上部・下部消化管および肝・胆・膵の消化器疾患全般、ヘルニアなどを診療する一般・消化器外科、乳腺外科、末梢血管および腹部大動脈疾患を診療する血管外科で構成されています。総合病院であるため、併存疾患を持った症例が多く集まり、各科と密に連携し治療にあたっています。



da Vinci HD
SURGICAL SYSTEM



消化器外科 **20** 例
2013 年～



呼吸器外科、小児外科手術も多数行なわれているため、助手あるいは術者として手術に参加することで、外科専門医申請に必要な症例は十分経験することができます。

また、当院外科のもう 1 つの柱が救急医療です。救急外科もローテーションすることができ、なかでも重症外傷は当院の最も得意とする分野で、外傷を専門とする救急外科医から本邦最高レベルの指導を受けることができます。外傷のみならず急性腹症も救急外科で対応しているため、Acute Care Surgery 領域で非常に多くの症例が経験可能です。

また、当院では手術支援ロボット、ダヴィンチでの胃癌手術、ハイブリッド手術室での血管手術・外傷手術、サイバーナイフによる放射線治療などを行っており、これらの最先端医療を研修することが可能です。

外科部長 江川 智久(集合写真前列右から 3 人目)



○診療実績

主な手術件数（2016.4-2017.3）は以下の通りです。

部位	件数
食道	24
胃・十二指腸	166
小腸	39
虫垂	111
直腸・結腸・肛門	375
肝・脾	60
胆嚢	195
膵臓	36
腹腔・腹膜他	51
ヘルニア	125
その他（CV など）	147
乳腺	214
腹部血管・末梢血管	370
心臓血管	296
呼吸器	172
皮膚ほか	22
小児外科	17

◇先輩からのメッセージ◇

当院の外科レジデントは、卒後 3～6 年目を中心に 10 人ほどいます。日替わりの外科外来、あらゆる領域の手術が毎日あり、レジデントの数は多いものの、手が空いている人はほぼいません。症例数は十分であり、最短で問題なく外科専門医は取得できます。何より楽しく、皆で切磋琢磨していける環境が整っていますし、雑務や当直に忙殺されることはなく、日々の手術や周術期管理に集中できます。家庭を持っているレジデントも多く、皆でサポートし合って研修できるのも良いところです。皆、熱い思いで研修をしている人が多く、スタッフも含め外科全体の雰囲気は非常に良いです。是非、当院で、最高の外科研修を送りましょう。

（専攻医 3 年目）

○認定医/専門医/指導医数

日本外科学会専門医 7 名、同指導医 3 名
 日本消化器内視鏡学会専門医 3 名、同指導医 2 名
 日本消化器病学会 専門医 2 名、同指導医 1 名
 日本臨床腫瘍学会暫定指導医 1 名
 日本癌治療認定機構 がん治療認定医 6 名暫定教育医 1 名
 日本消化器がん外科治療認定医 5 名、
 日本脈管学会専門医 1 名
 日本乳癌学会専門医 1 名
 下肢静脈瘤血管内レーザー焼灼術指導医 1 名 ほか

日本消化器外科学会専門医 6 名、同指導医 3 名
 日本内視鏡外科学会 技術認定医 3 名
 日本食道学会 食道科認定医 2 名
 日本腹部救急医学会認定医・暫定教育医 2 名
 日本救急医学会専門医 1 名
 日本胆肝膵外科学会高度技能指導医 1 名
 日本心臓血管外科学会専門医 1 名
 腹部大動脈瘤ステントグラフト指導医 1 名

○連携施設名

当院が基幹施設として：済生会神奈川県病院、済生会宇都宮病院、東京都済生会中央病院、埼玉県済生会川口総合病院、平塚市民病院、福岡新水巻病院

当院が連携施設として：慶應義塾大学、東京医科歯科大学、藤田保健衛生大学、杏林大学、北里大学